

印西市企画提案型協働事業 事後評価シート(比較表)

1. 事業概要

事業名称	竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業	
事業の実施者	実施団体名	特定非営利活動法人エコネットちば
	所管部署	都市整備課

2. 事業のプロセス評価

	設問	エコネットちば				印西市			
		十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
(提案書提出前) 協働事業開始前	Q1 申請者と関係各課との間で相談や協議を行いましたか。	1. 実施した 2. しなかった				1. 実施した 2. しなかった			
	Q2 相談や協議を行うことにより、相手方の主張について理解を深められましたか。		○				○		
	不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを以下に記入してください。								
(アイデア審査後、最終審査前) 協働事業開始前	Q3 事業の詳細を協議するにあたり「企画提案型協働事業実施要領」の事業の流れや提案にあたっての留意事項を参考としましたか。	1. した 2. しなかった				1. した 2. しなかった			
	Q4 お互いの立場、置かれている状況、特性を理解できましたか。		○				○		
	Q5 協議は対等・協力的に行えましたか。		○				○		
	Q6 共有すべき課題について確認できましたか。		○				○		
	Q7 互いの果たすべき役割の認識・目標の分担ができましたか。		○				○		
	Q8 最終的な協働事業効果・事業成果について確認できましたか。		○				○		
	不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを記入してください。								

	設問	エコネットちば				印西市			
		十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
協働事業実施中	Q9 事業の中間報告や市担当職員が現地に赴くなど、パートナー双方が進捗状況を確認したり、自由な意見交換を行いましたか。	1. 行った 2. 行えなかった				1. 行った 2. 行えなかった			
	Q10 当初の課題についてより深く理解し、新たな課題を共有できましたか。		○				○		
	Q11 当初の事業内容や協議事項に変更が生じた際、柔軟に対応できましたか。		○				○		
	Q12 打ち合わせ事項(合意事項)は記録に残しましたか。	1. 残した 2. 残さなかった				1. 残した 2. 残さなかった			
	不十分と回答した場合はその理由を、また事業実施に当たって留意した点や気になった点などをご記入ください。	・維持管理区域内は定期的に巡回を実施、環境保全と安全確保に努めた。放水口に溜まる浮遊物は適時除去して調整池の機能維持確保に努めた。また、台風等の気象異常時は事後随時巡回して、安全確認と倒木等の事後処理を実施した。一年を通してひょうたん島池広場に訪れる人々に快適な環境を提供することに努めた。							
協働事業実施後	Q13 成果を広く市民と共有できるよう取り組みましたか。		○				○		
	成果を共有するに当たり、どのような方法で情報発信を行ったか具体的に記入してください。	・秋には恒例の「第8回コスモスふれあいまつり」を開催、地元の皆さんはもとより周辺地域の人々にもひょうたん島池の秋を楽しんでいただいた。今年度も実施を予定しております。				・協働事業者による発信。			
	Q14 役割や責任分担は適切でしたか。	1. 適切 2. 適切でない				1. 適切 2. 適切でない			
	適切でないと回答した場合はその理由を記入してください。	・提案書の日常管理項目は定期的的確実施するとともに、自然現象による樹木の倒壊等、異常事態にも担当課と連絡をとり、迅速的確に処理した。				・協働事業者による草刈、花畑・樹木管理、清掃の維持管理。市として、相談・協議。			
	Q15 資金負担は適切でしたか。	1. 適切 2. 適切でない				1. 適切 2. 適切でない			
適切でないと回答した場合はその理由を記入してください。					・市民サービスの向上及び協働による地域の環境保全により維持管理費の削減。				

3. 事業の成果評価(事業計画書や事業完了報告書を踏まえて)

設問	エコネットちば				印西市			
	十分できた	できた	一部できなかった	全くできなかった	十分できた	できた	一部できなかった	全くできなかった
Q16 事業は当初の計画どおり実施できたと思いますか。		○				○		
実施できた点(できなかった点)を具体的に記入してください。	・環境整備、植栽管理等を計画通り実施。							
Q17 当初設定した成果目標や事業目的は達成できたと思いますか。		○				○		
達成できた点(できなかった点)を具体的に記入してください。	・環境整備、植栽管理等を計画通り実施。							
Q18 経費の支出は適切でしたか。		○				○		
適切でない支出があった場合は、その内容と理由を具体的に記入してください。								
Q19 協働で事業を実施したことは、単独で事業を実施するよりも効果があったと思いますか。		○				○		
効果があった点や課題を具体的に記入してください。	・受託者は小回りが利き、計画した環境整備、植栽管理等は予定通りに、異常事態には臨機応変の対応ができる。				・協働事業で維持管理を実施することにより、市民の地域拠点が生まれ、維持管理経費の削減ができた。			
Q20 事業の実施により、事業計画で示した地域課題の改善につながったと思いますか。	1. 思う 2. 思わない				1. 思う 2. 思わない			
改善が図られた点や課題が残った点を具体的に記入して下さい。	・従来に増して、ウォーキング、ジョギングの利用者が増え、健康増進の場としての利用が高まった。また、高齢者施設の散歩コースとしての利用も頻繁で、癒しの場として利用が拡大している。							

協働事業実施後

設問	エコネットちば	印西市
<p style="text-align: center;">今後の展望</p> <p>事業の今後についての見通しをご記入ください。</p>	<p>・企画提案型協働事業により「竹袋調整池(ひょうたん島池)と周辺地域の維持管理事業」も9年目を終えた。定期的な草刈りと花畑への植栽で、環境保全と景観美化を保ち、訪れる人々に癒しと健康増進の場として利用していただいている。また、イベントも恒常的に開催して地域行事としても定着、地域の皆さんも開催を待ち望まれるまでになった。今後は、より愛されるひょうたん島池広場になるよう、訪れる人々の声やニーズも参考に、更に工夫して維持管理して行きたい。</p>	<p>・協働事業の貢献により、季節ごとのイベントが定期的に行われ、定着しているので地域住民はもとより多くの方々のコミュニケーションの場として成長している。</p> <p>・今後の懸念材料としては、協働事業活動事業者会員の高齢化がありますので、後継者の育成にも積極的に取り組む必要がある。</p>

調整課(市民活動推進課)付帯意見
<p>当提案は、地域の憩いの場をつくることを目的に、市有地の調整池周辺エリアを維持管理する協働事業として採択されました。平成29年度は、平成21年度から連続して9年目の事業実施となりました。</p> <p>本事業では、年間を通して、調整池及び周辺の花畑が管理され、季節ごとにさまざまな草花が楽しめるよう整備されました。また、提案内容以外にも、地元町内会等と連携してまつりを開催するなど、地域コミュニティの場としても活用されました。提案者の管理は細部にわたっており、花畑の整備や清掃等に加え、桜の剪定や調整池内の水生植物の除去など、多くの作業を実施しました。</p> <p>提案者は今後も維持管理を継続し、イベントの実施についても積極的に行っていく意向で、担当課としても提案者に管理を継続してほしいと考えております。すでに憩いの場として定着し、地域のニーズは高いと思われます。平成30年度が企画提案型協働事業(市民提案型)としての最終年となることから、今年度は事業を実施しつつ、会員の高齢化等の問題もありますが、来年度以降の継続方法について、結論を出すことが必要となります。</p>